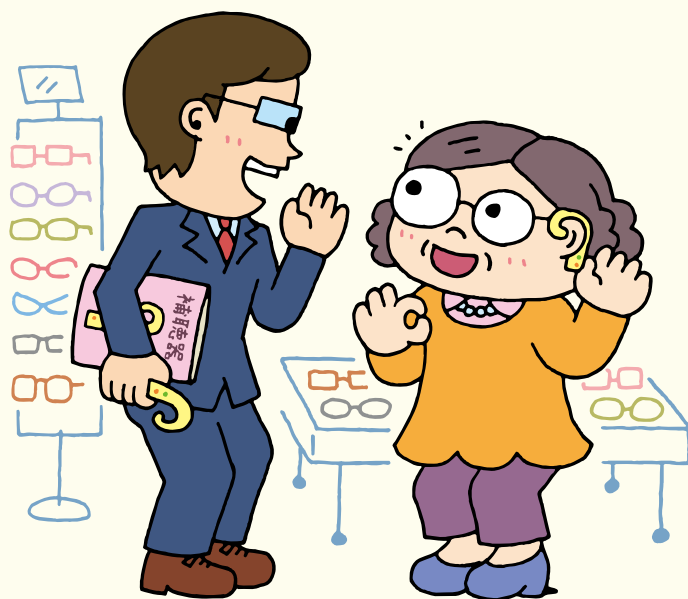


見守り 新鮮情報

第184号

サングラスを買うために**メガネ店に出向いた際**、店員に「左耳が突発性難聴のために耳鳴りがする」という話をした。**試しに**その店で扱っている**補聴器を着けてみると**、耳鳴りが止まったような気がした。店員から勧められ右の耳にも着けたところ、良く聞こえるようになったと感じた。そのまま売り場で、どの補聴器が良いかなどと聞かれ、**いつの間にか**両耳で約**50万円**の補聴器を**買う**ことになってしまった。後日、やはり高額だと思い**キャンセルしたい**と伝えたが**拒否**された。その後、病院で診察を受け「補聴器はしないほうがよい」との診断が出た。解約できるか。

(60歳代 女性)



補聴器選びは慎重に!

ひとこと助言

慎重にね



見守るくん

- 補聴器にはいろいろな種類があり、価格や性能は様々です。購入の際には事前に耳鼻咽喉科を受診し、自分の「聞こえ」の状態などについて相談したり、商品の情報収集をしたりすることが大切です。
- 補聴器では、使用する人の聞こえに合わせるフィッティングと呼ばれる調整作業が重要になります。購入後にも再調整などの必要があるため、専門知識・技術を有する販売員がいる店で購入するとよいでしょう。
- 聞こえが十分でない高齢者が、販売員の説明をよく理解しないまま契約してトラブルになることがあります。購入の際は家族など周りの人がサポートしましょう。
- 困ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください。